



前橋 Maebashi

ハレルヤブックセンター

たよ

発行▶前橋ハレルヤブックセンター支援委員会
住所▶☎ 371-0016 群馬県前橋市城東町2丁目5-3
電話▶027-212-8505 FAX▶027-212-8508
E-mail▶hallelujah2019@gmail.com ホームページ▶<http://maebashi-hallelujah.net/>

vol.9 2023年2月



“ことば” は人となって

信仰良書を読むことは、私たちの信仰の成長にとって大きな助けになります。単なる知識としてだけでなく、読み手の中で行動となって本来の意味を持つのではないのでしょうか。

身体と話すことのご不自由な女性が日曜日の礼拝に出席していました。いつも素敵な微笑みで、礼拝の雰囲気を明るくしてくれました。ある日、彼女がお腹の強い痛みで入院したことを聞きました。その頃、私も体調を崩しており彼女のために祈っていました。

二か月後、退院してきた彼女に会うと、私を見るなり大きな声で何かを叫び始めたのです。顔を真っ赤にして、必死に叫んでいるその姿を見て、「痛かったんだね」「大変だったね」と声を掛けました。しかし、ますます大きな声で叫ぶので、体調を心配して離れようとする私を職員が制止しました。再度集中して聞くうちに、彼女の叫びの内容が分かってきたのです。「せ・ん・せ・い」。そして、そのあと聞き取れた言葉にハッとしました。「だい・じょうぶ・で・す・か」。彼女は痛みの中で私の体調不良を聞き、ずっと案じてくれていたのです。だから



退院して最初に会ったときのことばが「痛かった」ではなく「大丈夫ですか」だったのです。私は他者のためにこんなに必死に、ある意味命がけで「ことば」を語ったことがあったのだろうかと考えさせられました。

ナイチンゲールは「人の思いは、言葉に変わることで無駄にされているように、私には思えるのです。それらは皆、結果をもたらす行動に変わるべきものなのです。」と言いました。

ヨハネは「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた」(ヨハネ1:14)と言います。神のことばであるイエス様は、人となって罪人の世界に来られ、贖いを成し遂げてくださいました。そして、彼女の叫ぶことばは、具体的な行動となって愛が表明されたのです。

心を込めて紡がれた数々の本は、私たちの中で行動となって実を結び、初めて著者の意図は完成するのではないのでしょうか。一冊一冊の「ことば」を大切にしたいと思います。

あけぼのコミュニティー教会主管牧師

櫻井 実

新年度！ CS 応援コーナー

教会学校・こどもプログラム・こどもの礼拝など、CS アイデア満載の書籍をご用意しております。



どう活用していますか？

オンライン文書伝道デー『ぶんでん』



高崎福音キリスト教会
の場合

約5分のYouTube動画でキリスト教書籍やグッズを紹介し、実際にお届けまでをプランニングする“オンライン文書伝道デー”『ぶんでん』。現在群馬県の20教会が登録しています。

今回は、実際に教会で『ぶんでん』を活用していらっしゃる日本同盟基督教団「高崎福音キリスト教会」の坂本美恵子先生にお話を伺いました。(以下黒字：美恵子先生 / 青字：編集者)



早速ですが、実際に『ぶんでん』をどのように上映されていますか？

礼拝後すぐにプロジェクターで『ぶんでん』を上映しています。福島店長や『ぶんでん』動画担当者も言っ

ているように「5分で済む」ということをアピールして、皆さんが礼拝後席を立ちあがってしまう前にすかさず、上映を始めます。

すかさず(笑)大切なポイントですね。

上映は、美恵子先生がなさっているのですか？

私たちの教会には、『ぶんでん』の係をしてくださっている方がいるので、上映はその方がやってくれます。

『ぶんでん』係の方がいらっしゃるんですか！

それはいいですね～

はい。書店から送られる毎月の『ぶんでん』リンクも、係の方のメールアドレスに届き、新しいリンクが届いたら、すぐ次の日曜日の礼拝に上映できるように準備してください。『ぶんでん』の上映がある日は、週報でも案内するんですよ。

週報に載っていると、皆さんも心づもりができますね。

上映後はどのような流れですか？

係の方が「私もこれを注文したいと思います」なんてコメントをつけて、さらに注文受付のアナウンスをさせていただきます。だいたいその場で注文していく方が多いです。それを私が取りまとめて、翌日月曜日に書店に注文すると、もう木曜日には届くので、翌週の日曜日には注文された方に本をお届けできるんです。

素晴らしいチームワークですね！

『ぶんでん』をはじめてよかったということがあったら教えてください。

教会員の方で書店に足を運びたいという思いがあっても、実際には出向くのが難しかった方々が、『ぶんでん』を通して、お一人おひとりが本とつながることができるようになり、とてもよかったなと思います。

……横でお話を聞いていた福島店長、「そのために書店をはじめたといっても過言ではないので嬉しいです！」と感涙……

動画の最初と最後に福島店長のがんばっている姿が見られるのも、前橋ハレルヤブックセンター『ぶんでん』のいいところですよ(笑)



坂本誠先生・美恵子先生



引き続きお申込みを承っております。
登録料無料！
ぜひ、オンライン文書伝道デー『ぶんでん』ご利用ください。

この春もさまざまなシーンで本との出会いをお手伝いします



十字架と復活を想う書籍、——ディポジション BOOK 日々の生活にみことばを。——
集めました！

3月にはイースターフェア開催！
特典付おハガキでご案内します



こんなことをやっています!!

前橋ハレルヤブックセンター支援委員会

前橋ハレルヤブックセンター（以下 HBC）の支援委員会は、2019 年書店開店と同時に発足し、以来書店の働きを支援しています。

支援委員会の大きな働きは、今ご覧いただいているニュースレターを発行することです。そして、もう一つ、会則に基づいて年 2 回、9 月と 2 月定例会が開かれます。この定例会では、書店の活性化に向けて、さまざまな教会・立場から地域の文書伝道を考える機会となっております。

前回 2022 年 9 月に開かれた支援委員会・定例会をレポートします。



- 開催日：2022 年 9 月 30 日（金）18 時より
- 出席者：14 名（福島店長含む）
- 会場：福音伝道教団前橋キリスト教会の礼拝堂
- 奨励：今回ニュースレターの巻頭言を書いてくださっている桜井先生がご担当でした。
- 福島店長より書店報告。
- 支援委員会報告。会計報告や新規加入報告がされます。
- 審議：出席者の自己紹介を交えながら意見・要望・文書伝道推進のアイデアなどを出します。



いろんな方との出会いも、定例会の楽しみのひとつです。

支援委員会から ご協力をお願い

このニュースレターは、前橋ハレルヤブックセンター支援委員会への献金で発行されております。今後の継続に向けて、皆さまからのご支援・ご寄付をよろしくお願いたします。また、支援委員会に加入して下さる教会・施設・企業等も引き続き募集しております。ぜひご協力ください。

| | |
|-----|---------------------------------|
| 口座名 | 前橋ハレルヤブックセンター支援 |
| 振込先 | 高崎信用金庫 前橋支店 普通 2 2 2 6 9 2 9 |

今回の出されたアイデア

- 冠婚葬祭のお返しなどにキリスト教書籍や用品を利用して頂けるようアピールしてはどうか。
- 今はインスタの時代! 書店の書籍の様子や営業案内をアップしてアピールするのはどうか。→その後すぐに実行 HBC インスタをはじめました!
- HBC オリジナルの書籍の読み聞かせ音源を作成して、SNS で配信してはどうか。
- せっかくだから、その音声データを QR コードにして、ニュースレターにも掲載し、読み取れるようにするのはどうか。
- 三浦綾子の特集がよかった。
- 引き続き、星野富弘さん、八木重吉さんなどの特集や、本を語る会をおこなってはどうか。
などなど、毎回たくさんのアイデアが出され、また一つの案がキャッチボール式にどんどん大きく膨らんでいきます。

あなたも支援委員会定例会に参加してみませんか?

年 2 回の定例会は、加入団体・教会の皆さまはもちろんのこと、まだ委員会に加入していない牧師及び教会員の方々の出席も歓迎しています。

多くの方が出席されることがスタッフ一同にとっても大きな励みとなりますので、ぜひご参加ください!

(詳しくは書店まで)

春の新しい門出のお祝いに、みことは入りのギフトはいかがでしょう



vol.9 おすすめの本、 教えてください。

『サークル・メーカー 最後まで祈り抜く人が見る奇跡』

(いのちのことは社) 2,200円税込
マーク・バターソン著



中間時代の祈りの人・ホニから、人生を変える祈りの秘訣を学ぶ書籍です。全米でミリオンセラーになった話題作、待望の邦訳です。本書はとにかく、読めば、自分も祈りたい! 祈るぞ! と気持ちが高められます。私たちの能力や経済力を超えている課題だからこそ、神様に委ねて祈るべきだと教えられ、自分がいかに初めからあきらめて祈っていなかったか気づかされます。2023年は本書と一緒に神様から与えられたビジョンを言葉にし、祈る1年にしてはどうか。信仰生活、祈りに前向きになれなかった人オススメです。

『おはよう! 神さま 365日の子どものデイポーション』

(いのちのことは社) 2,970円税込
マックス・ルケード著



ベストセラー絵本「たいせつなきみ」の著者として知られるマックス・ルケードが、小学校中学年以上の子ども向けに分かりやすく書いた365日分のデイポーションブックです。ひとりで読むのもよいですし、家庭礼拝や食事の前に、お父さんお母さんと一緒に読んでみることもおススメです。私も読んでみましたが、日常生活のあらゆる場面に、神様の恵みがあることが伝わり、日曜だけでなく平日も神様を身近に感じられるようになりました。

2023年は、大人も子どもも本書と一緒に御言葉に親しむ生活を始めてみてはいかがでしょうか。

いのちのことは社営業本部長・前橋ハレルヤブックセンター支援委員
後藤 崇広

古書の献品 受け付けています

※キリスト教書やCD,DVDの献本・献品を受け付けています。
※買取りではございませんので、ご了承ください。

聖餐式キットのご案内

コロナ禍の衛生対応!
訪問・リトリートの
携帯用にも!



聖餐式個別セット
10個入 500円
(税込)

新年度からはじめてみませんか

定期雑誌をはじめCS教材、ディポーションテキストなど取り揃えております。

—— 年間購読予約も承っております。 ——



＜編集後記＞ オンラインと聞くとパツと欲しい物が「ひとりでに」手に入る、そんなイメージがありました。けれど、今回オンライン文書伝道デー『ぶんでん』の取材の中で、一人の人が1冊の本と出会い、それが手元に届くまでに、何人もの人が携わっていることを知り、「ひとりでに」ではない「計らい」を感じました。(S.Y)



前橋ハレルヤブックセンター

〒371-0016 群馬県前橋市城東町2丁目5-3

TEL 027-212-8505 FAX 8508



営業時間 11:00 ~ 17:00

休業日: 水曜・日曜・祝日